

講義録レポート

講 座	証券アナリスト	科目①	2次科目別集中セミナー
目標年	2013年合格目標	科目②	市場と経済
コース	2次対策	回 数	1 回

収録日	2012 年 7 月 23 日		
講師名	高久保 先生	講義録 枚数	1 枚 ※レポート 含まず
		補助資料 枚数	6 枚 (サイズ)

講義構成	講義（ 27 ）分		
使用教材	①		
	②		
	③		
	④		
配布物	有・無		
	①		
	②		
	③		
正誤表	有・無	枚	
備考			

証券アナリスト講義録				科目	市場と経済	コース	2次・科目別 集中セミナー	回数	/
------------	--	--	--	----	-------	-----	------------------	----	---

配布物	★ミニテスト：あり []	なし	★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説	講師	高久保 先生
	★実力テスト：あり []	なし	★その他のレジュメ []		
	◇配布物なし				

テキスト ページ	黒板内容
	貯蓄・投資バランス ① マクロのグループ分け 国内 金融機関 民間 政府 家計 企業 海外

金融資産	金融負債
	差額
実物資産	正味資産

→ 資金過不足 = $\frac{\text{正味資産増減}}{\text{貯蓄}} - \frac{\text{実物資産増減}}{\text{投資}}$
70-化 (差額の増減)
プラス = 資金余剰
マイナス = 資金不足

2 次科目別集中セミナー

2次レベルでは何が出題されるのか？ ～ 市場と経済の分析編 ～

1. 証券アナリスト 2 次レベル・市場と経済の特徴

1. 証券アナリスト協会による市場と経済の位置づけ

- **アナリスト協会における経済の捉え方**：日本証券アナリスト協会発行の『スタディ・ガイド』（第 1 回・配本）によれば、「アナリスト協会」は、一般的な経済を「マクロ経済学」，「ミクロ経済学」，「経済事情」といった 3 つの領域に分けてとらえている。

- ⊕ **1 次レベルから 2 次レベルへ**：1 次レベルで学習したミクロ経済学・マクロ経済学に関する基礎知識に加えて，(1) ファイナンスのためのミクロ経済学，(2) 国際マクロ経済学（マンデル＝フレミング・モデル，2 国モデルなど）を学習し，その上で，(3) 市場と経済に関するデータやニュースに基づいて，ミクロ経済学，マクロ経済学の理論を適用した分析を行い，それを金融・経済の予測に結びつけることを中心に学習することとなっている。

- ⊕ **2 次レベル試験における出題内容**：2 次レベル試験において，基本的に，論述問題が出題される。さらに，その論述問題では，現実経済の動向を，論理的（理論的）に説明することが求められる。

試験対策として何が必要か？

★「市場と経済」への対策として，つぎの 2 点が重要となる。

- **現実の経済の動きをどのように考えればよいのか？**
- **論理的に説明するためにはどのように書けばよいのか？**

2. 市場と経済の分析の出題傾向と対策

1. 理論化の傾向

- **最近の出題傾向**：最近 4 年間の出題内容は、つぎのようになっている。

実施年	問題番号	おもな出題内容
平成 20 年	第 1 時限・第 1 問	景気動向と物価・金融政策・金利動向
	第 1 時限・第 7 問	金融政策のルールと金利動向など
	第 2 時限・第 9 問	【ミクロ】寡占市場と効率性
平成 21 年	第 1 時限・第 1 問	GDP・景気動向と株式投資収益率
	第 1 時限・第 8 問	貯蓄投資バランスなど
	第 2 時限・第 9 問	外国為替市場への介入の効果
平成 22 年	第 1 時限・第 1 問	貯蓄投資バランスなど
	第 1 時限・第 7 問	【ミクロ】ゲームの理論と情報の経済学
	第 2 時限・第 9 問	デフレ下の AD-AS 分析・金融政策の効果
平成 23 年	第 1 時限・第 1 問	マネーストックの動向と金融政策
	第 1 時限・第 7 問	財政危機と外国為替市場
	第 2 時限・第 9 問	経済の長期的動向と成長会計
平成 24 年	第 1 時限・第 9 問	金融緩和政策の効果と外国為替市場介入
	第 2 時限・第 1 問	貯蓄投資バランスと累積債務問題
	第 2 時限・第 2 問	【ミクロ】寡占市場とオークション理論

理論的な問題が多く出題されている

- **第 1 次レベル試験への接近**：「市場と経済の分析」では、ミクロ経済学・マクロ経済学を中心として出題される第 1 次レベル経済の出題内容との接近の傾向にもある。そこで、まず第 1 次レベル経済における重要ポイントの知識の復習をすることも効果的である。

出題例：(貯蓄投資バランスと政府の負債残高に関する問題)

- 問1 貯蓄投資バランスの概念を簡潔に説明しなさい。
- 問2 貯蓄投資バランスと国際収支統計における経常収支との関係を説明しなさい。
- 問3 政府が名目 GDP に対する予算規模を維持し、かつ公債収入に対する依存度を高めた場合、貯蓄投資バランスにおいてどのような状態が生じるのか。様々な状況が考えられるが、2 つ挙げてその実現可能性を説明しなさい。

1 次レベルの問題でみると…

第 1 次レベル・関連問題：貯蓄・投資バランスと経常収支の関係に関する次の記述のうち、正しくないものはどれですか。

- A 他の条件を所与として、民間貯蓄に比べて民間投資が大きくなると、経常収支は悪化する。
- B 他の条件を所与として、民間消費が大きくなると、経常収支は悪化する。
- C 民間部門の貯蓄超過が財政赤字の合計よりも大きくなると、経常収支は改善する。
- D 他の条件を所与として、政府支出が増加すると、経常収支は改善する。

解法のポイント

- ☑ **選択肢 D**：正しくない。他の条件を所与として、政府支出が増加すると、日本国内全体で見ると資金余剰が縮小する（または、資金不足が拡大する）ので、経常収支は悪化する。

解答：D

- **貯蓄投資バランス**：貯蓄と投資の差額（＝資金過不足）は，マクロ経済全体ではバランスして，その合計はゼロとなる。このため，日本国内全体が貯蓄超過（＝資金余剰）であれば，海外部門は投資超過（＝資金不足）となる。

《マクロ経済主体のバランスシート》

金融資産	金融負債
	差額
実物資産	正味資産

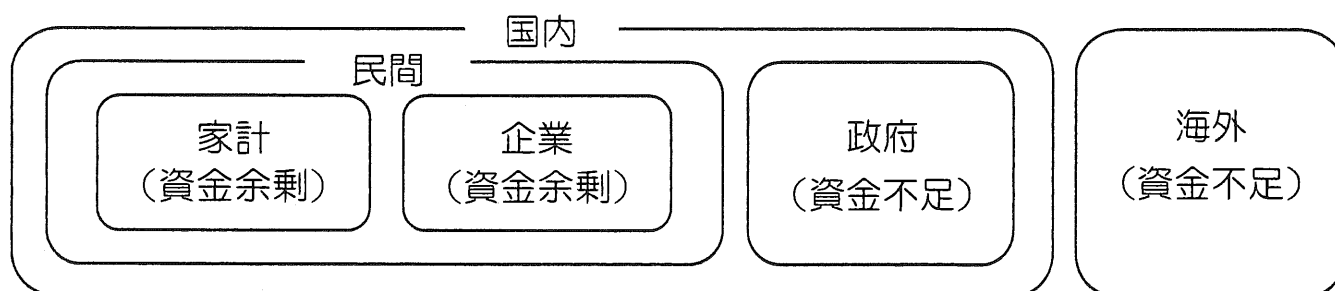
差額に注目すると…

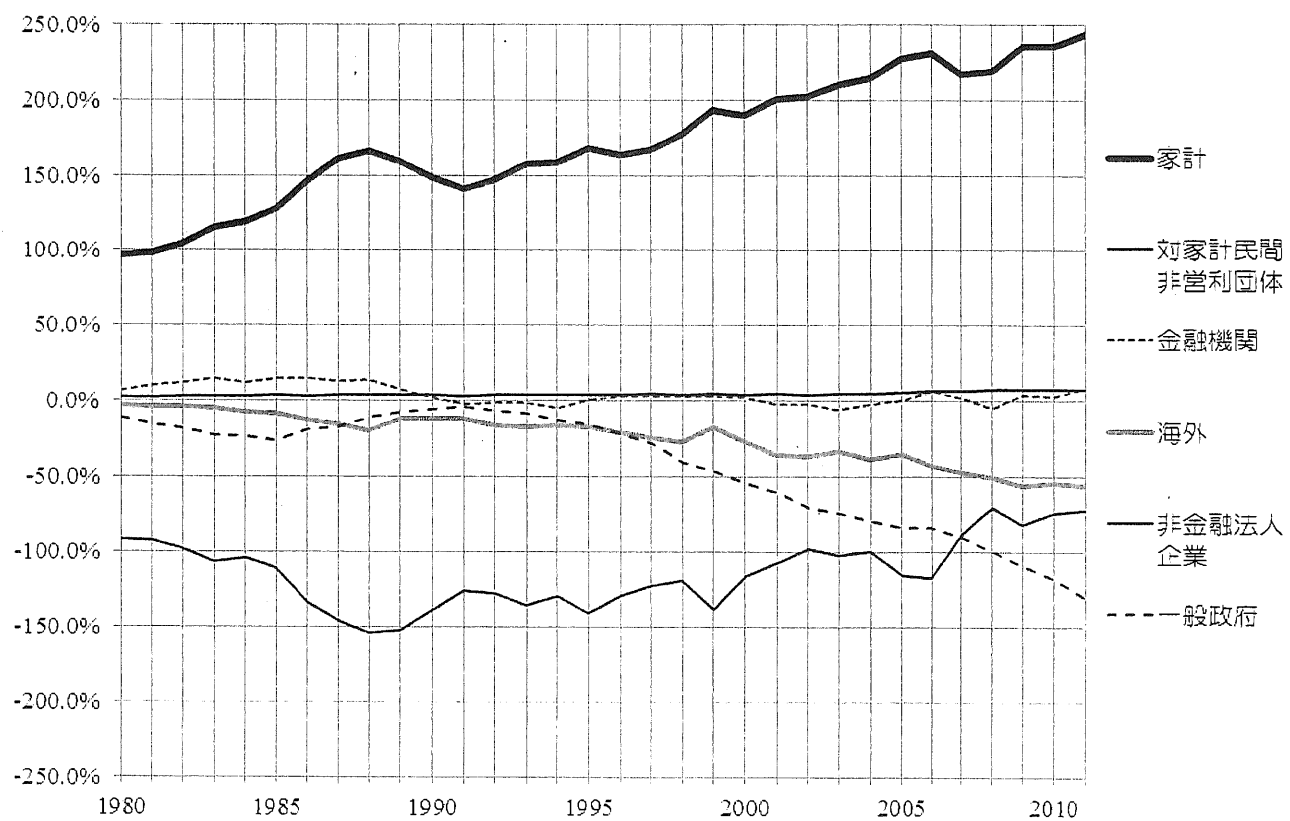
$$\text{差額} = \text{金融資産} - \text{金融負債} = \text{正味資産} - \text{実物資産}$$

フローにすると…

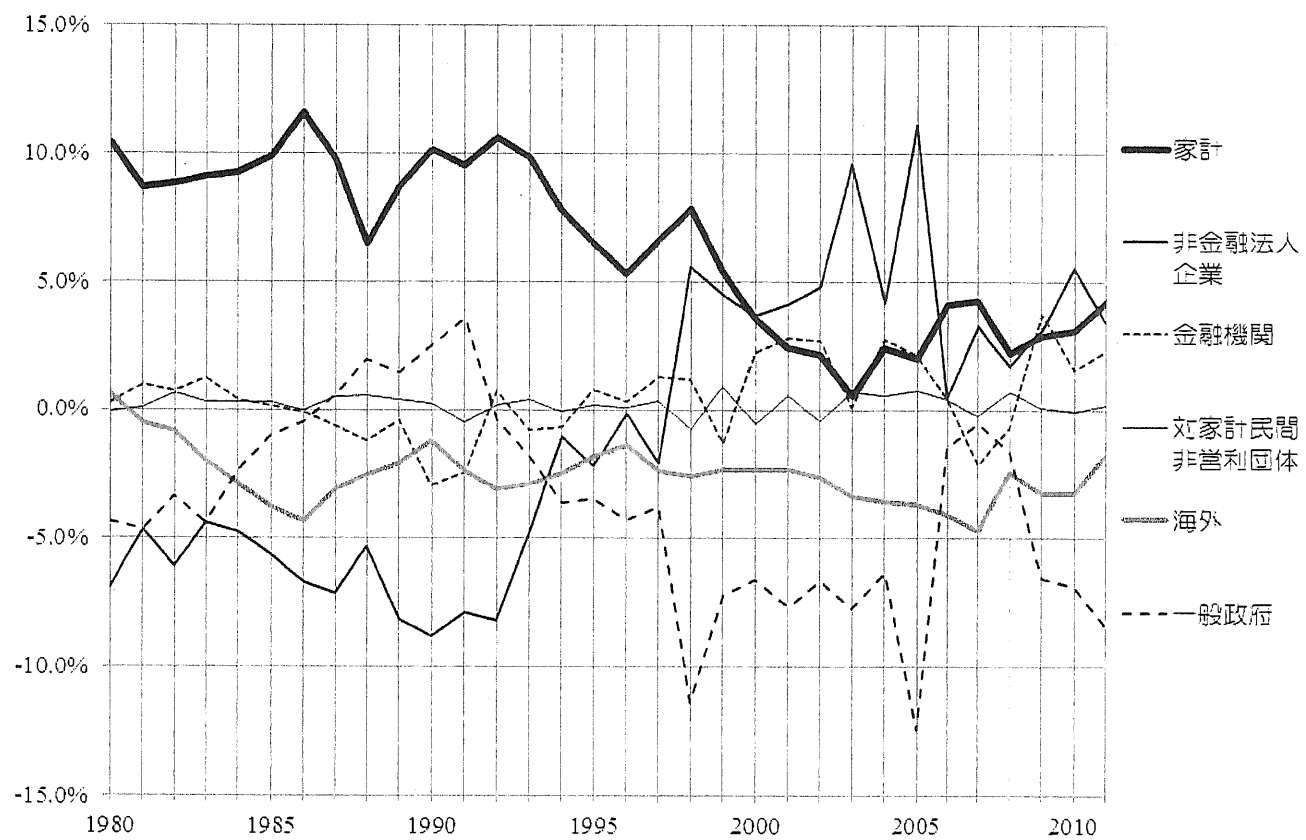
$$\begin{aligned} \text{資金過不足} &= \text{金融資産増減（資金運用）} - \text{金融負債増減（資金調達）} \\ &= \text{正味資産増減（貯蓄）} - \text{実物資産増減（投資）} \end{aligned}$$

最近の日本のおもな部門の貯蓄投資バランス（＝資金過不足）





金融資産・負債差額の対名目 GDP 比の推移（1980～2011 年度）
（資料）日本銀行ホームページ



資金過不足の対名目 GDP 比の推移（1980～2011 年度）
（資料）日本銀行ホームページ

2. 市場と経済の分析への対策：インプットとアウトプット

- **インプット**：試験対策としては、まず、試験問題を解くために必要となる知識の整理が重要です。現実の経済を説明するためには、どのような理論・考え方を身につけておけばよいのか？ また、いろいろな理論をどの程度まで理解しておけばよいのか？といった各項目での重要ポイントを整理し、さらに、現実経済がどのような理論・考え方によって説明されるのか、その説明の仕方を整理しておくことも必要です。ただし、いくつかの論点では、繰り返し出題される傾向 もありますから、この点の重要度は高まっているといえます。
- **アウトプット**：試験に出る論点を理解・暗記しても、それを本番の試験で使いこなすことができなければ、得点につながりません。とくに、市場と経済の分析の問題の場合、ほとんどすべて論述問題であるため、経済独特の用語の言い回しに慣れておくことが、うまい答案作成に繋がります。そのため、答案作成トレーニングを十分に行うことが合格の近道になります。